

日本共産党枚方・交野地区委員会は、枚方市長選について以下の見解を発表しました。

枚方市長選挙について 2011年8月2日
日本共産党枚方・交野地区委員会

8月21日告示、28日投開票で行われる枚方市長選挙で、わが党は公認候補として、みわ智之を立てることを決定しました。

日本共産党も参加している「清潔で民主的な革新枚方市政をつくる会」が、7月20日「候補者擁立を断念する」との声明を発表したのを受け、急遽党の独自候補を擁立することを決定したものです。

市長選ではすでに現職の竹内脩氏をはじめ、中司前市長などが出馬表明していますが、どちらが市政を担当しても、市民本位の市政への転換を望むことはできません。中司前市長は、第2清掃工場建設工事をめぐって官製談合の罪に問われ、大阪地裁と高裁において、有罪判決（執行猶予つき）を受け、現在最高裁に上告中であり、この判決を「冤罪」だとし、市政に大きな汚点を残したことへの反省はまったくありません。現市長は、「中司市政の後継者」を自認し、中司市政が敷いた「構造改革アクションプラン」を引き継ぎ、市営葬儀の廃止、養護老人ホームの閉鎖などを強行、国民健康保険料の大幅値上げを断行しました。

かつて「子育てするなら枚方で」「老後も枚方で」と「福祉のまち枚方」は市民の誇りとなっていました。それは1960年代から80年代にかけて、保育所、幼稚園、公民館、高齢者福祉など市民の提案や運動が巻き起こり、行政が積極的に受け止め、一つ一つ市政に実現。市民と職員と理事者が一体となって枚方のまちが作られてきたからです。

しかし1995年、中司市政の出現で、上からの構造改革の押しつけによって、市民が築いた財産が次々と切り崩され、竹内市政もこれを無批判に引き継ぎ、今日市民は市政に希望を持つことができなくなりました。

東日本大震災や福島原発事故を通して、改めて、地方自治のあり方が問われており、多くの市民が「真実の政治とは何か」を考えるようになっています。わが党は、この流れをさらに大きくし、みわ智之を先頭に、真に市民が主人公の市政をめざし、市民ともに考え、ともに全力を尽くす決意です。

日本共産党公認で出馬表明 市長候補にみわ智之さん(36才)

みわ智之さんからのメッセージ

いま、枚方市に必要なことは、子どもからお年寄りまで、いきいきと「未来に希望」をもってくらせるまちをつくることです。
この16年間、枚方市政は、市民いじめの政治が行われてきました。
大震災と原発事故をうけて、いまほど、命とくらしを守る自治体の役割が問われているときはありません。
「子育てするなら枚方で」「老後も枚方で」といわれる市政、市民にひらかれた清潔な市政を一緒に作りましょう。



プロフィール

1975年生まれ。樟葉北小学校、楠葉中学校で学ぶ。小学生時代からKSCに所属し中学校でもサッカー部に。

府立淀川工業高校機械科に入学。グリークラブ（男声合唱団）で青春を送る。

18歳から設計会社で働き、23歳で日本民主青年同盟の専従活動家に。のち大阪府委員長として青年運動に携わる。

現在、日本共産党枚方・交野地区委員会副委員長。

三人の息子をもつ36才。料理や洗濯に奮闘中。

(片鉾東町在住)

若者・子育て世代から未来へつながる枚方のまちを

「イクメン」パパで子育てのまちへ
保育所・学童保育の充実、子どもの居場所づくり、子どもの医療費助成、少人数学級の充実をはかります。

若者・働き盛りの世代が輝くまちへ
若者の相談窓口、住宅リフォーム助成制度の創設などで、仕事を増やし雇用の拡大をはかります。

安心して住み続けられるまちへ
国保料の引き下げ、介護保険料の減免制度充実。新婚世帯家賃補助の創設、防災対策の強化をはかります。

みわ智之 事務所開き

8月7日(日) 午前10時～ 地区委員会事務所

お知らせ

枚方民報

2011.8.6 662
発行：日本共産党
枚方市委員会
東田宮1-137-3
:844-6201

Fax:845-4141
市会議員団

・Fax:841-7243

石村 淳子
伊加賀栄町18-16
846-3245

広瀬ひとみ
津田駅前1-7-4
859-8433

つつみ幸子
香里ヶ丘8-32-2-605
050-3795-5001

おりぐち勲
牧野北町5労住まきの
ハイツ2-604
868-3108

中西ひでみ
渚南町18-45
849-7335

野口 光男
星丘2-22-25
848-3128

松岡ちひろ
招提元町3-36-3
856-3092